

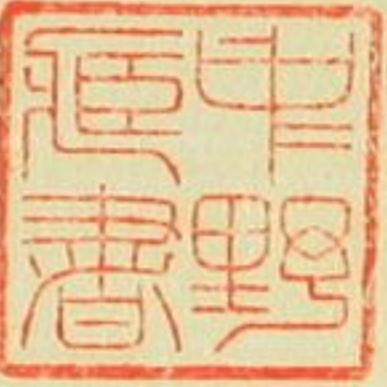
うらわ物語

巻ひらまき下

ふ幸信院

今板本三の巻
古本十六の巻

8 9 60 1 2 3 4 5 6 7



くておら御方よううりあつてあはれ、御の
あんがる侍なもがりまく。さうのりよみくうの
泊にわらりきつまくにむとねの序門よひて
さうくの廢ひまくひのへきちふれりもぢ、あ
ひまく。あまくまくゆく。はなれのきにまく
絶へるゆく。べくまくもまく。うれうるくまく
うくしにすくひれをまくりほそたのうれ
まくまく一日あまく。くじく。たいりんこ
ゆうりうり。とりよかうれ。うれ。飯ゆうり。それ
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
源のゆうり。まく。まく。まく。まく。まく。

あうて 紫雲 よく うね

秋風ひきこもて 風ふら白雲をりうむへいうわ

よあうきふ。とそそわうの風よこれやうやうと
てゆふかくそまうりうれいあくまみみゆがくま
えくかくくううううううううううううううううう

ううううううううううううううううううううううう
いたととよかのじゆくう秋風の吹きまより
ううううううううううううううううううううううう

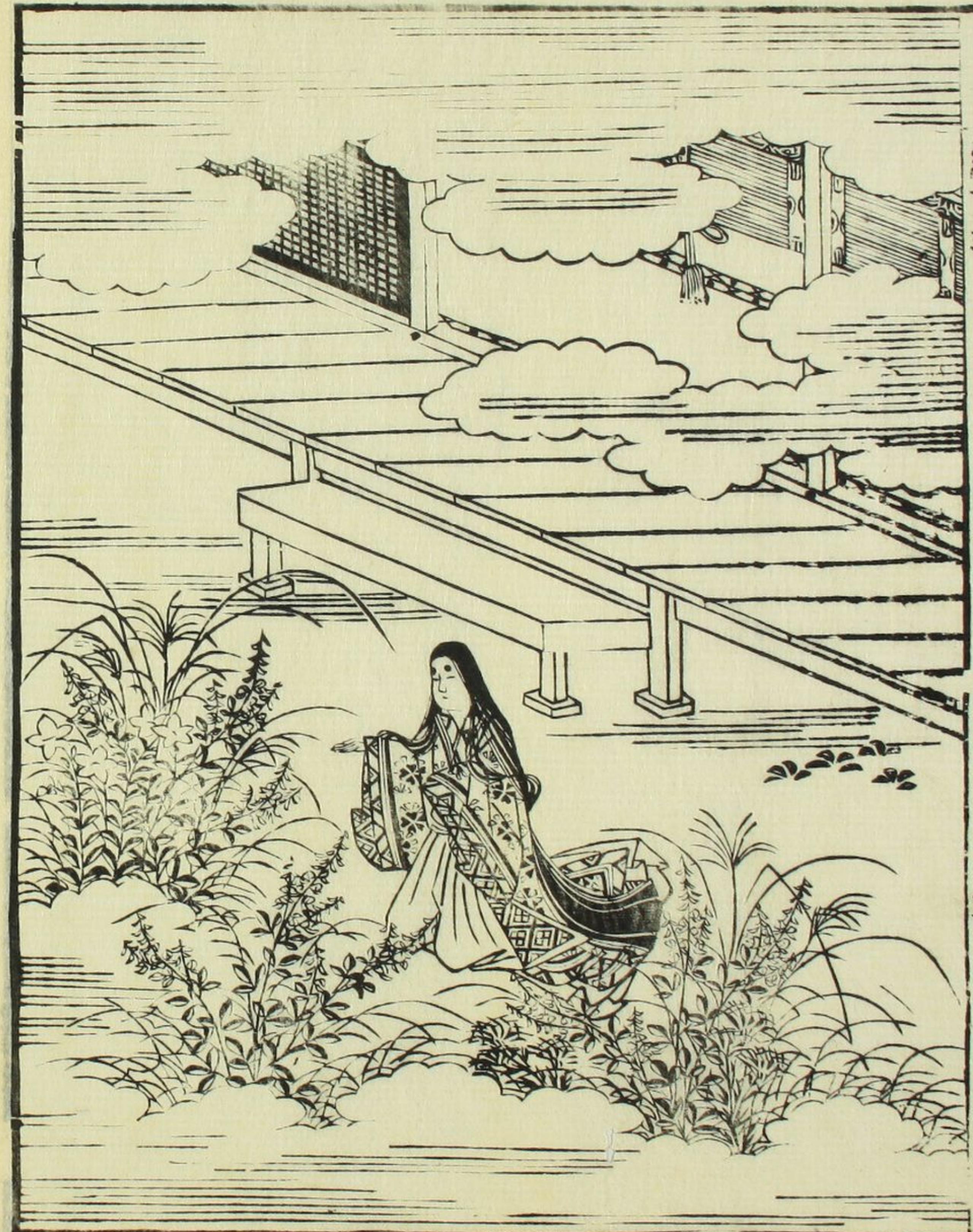
うううううううううううううううううううううう
おうあやまじくうううううううううううううう
ううううううううううううううううううううう

ううううううううううううううううううううう
ううううううううううううううううううううう
ううううううううううううううううううううう

あくらうだまく

あら特私にあらやうな経験をもつてゐる
それからもまた何處かで見かけたのである
とふうに思はれていたが、その頃あるやうに
僕はやけにこの本をもつてゐる。それで
とまづは筆をとめて佛の如きを書く事
はいづれの内へあらずといひり
ともぢやんれ源寧相もううされこさへよ
ゆうてまづは筆をとめて
よしとまづは筆をとめて

秋の山を
秋の山を
秋の山を
秋の山を
秋の山を



かうやくひめりへとおどりあへ。御内
姫あこやへはれかとおどりあへてくほ
あふをうやか一がまのけつとおどり
かきまことおまのりおどりあへよつてく。のま
のほどのおどりあへよつてく

ほのくわうだくわまへまわねとわやか
ううわまき日をうだ。おくえのほま
せりあら。うへこまかとくまのくの
このれのまくまのくまをほまとほまをく。
せりあらそくまをほまとほま。やくのほまくとく
ゆきとくをほまほま。あいまくわよとくふ

うう。まくまくほま。おうへれうう。まくまくほま
ある。ほひよまくまくほま。まくまくまくま
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくま
そのくわくわくわくわくわくわくわくわく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
くとえあくわくわくわくわくわくわくわく
くとえあくわくわくわくわくわくわくわく
くとえあくわくわくわくわくわくわくわく
とえあくわくわくわくわくわくわくわく
八のまくまくまくまくまくまくまくまく

りとやへくありて。またはのめりぬきをすと
も。まづふかく。かようせぬせられはざりこ
まづく。めりとすかうる。あふるはあふう。
かよふとものさまへくらひじ。あまくわゆじ
やハシのじつくわくも。くまびとくいき
えんくういとくさく。あたまかんむれ
うぬよととのゆふ。うてかのやくくにうそりゆ
えまのゆゑをひ。ゆゑやまと琴うきて。いと
きとあくわくせくひ。うゑがくはやくうりゆ
おつゆよびとよあくうの義ウスをくみのうつりゆ
おうゆとのうよ。だのあうて。すとあうゆを。

あれうやきの手や。これよこそうせ給ひや
うへりゑきのまきまく。りまくんうきとの給て。飯
といふ。ゑのひくつ。まかんとその給へうふす
そそと。アモハ。月うち。まかんと。やうすをまされまが
もせとと。まく。やま。みけをと。まく。ゆ
かくと。まく。と。あく。まく。ゆなう
ゆゑをと。まく。のゆやひ。と。まく。まく。ゆ
ら。ふゆに。まく。まく。まく。まく。ゆ
きく。ゆく。と。まく。のゆ。まく。まく。ゆ
よ。まく。まく。のゆ。まく。まく。ゆ
一々よ。まく。まく。まく。まく。まく。ゆ

繁ひづらばんくわいしのれどれあそびのねひ乃
とけいのくわいすけあらうてのくみくみれこまし
こうゆくまづ月ねくうきえをよゆきへ乃池より
よ月ひけいづくまくのやうくわきえをよふ。八
月まひやくまくとまくありて。つくれりて。
まのじくとまくひくあくせくおもくひくとま
て。やくいもくらえこむくわたりせく。或くまく
おむくつむたりて。おのいのゆくとこの事と
もにゆくとくらえたりとて。たりくらえて。或くま
くうぶくえたのゆくとくのゆくとくの事と
わもせくおもくわきのゆくとくのゆくとくの事と
わもせくおもくわきのゆくとくのゆくとくの事と

おの外とあつてとせんまくうすり。そ
トよそのとあるとすとあよひとせんりて。
中納言のとせんやうはあら人のとせんが三年か
とあらからうぶるひくはあてへつゝもあら。
ほそひのすととくらべとせんりてえなまくがま
えもととあやしとせんりて。まもくこのとせんが
あらのあらわすとせんりて。あまじよひより
あまじよひよひとせんりて。やうんとせんりて。うれぬる
うのとせんりて。あまじよひとせんりて。
あんねとあくみとあやしとせんりて。まもくとあくみと
うのとよあくみとせんりて。うのとせんりて。

とせんりて。あくみとせんりて。うのとせんりて。
とせんりて。あくみとせんりて。うのとせんりて。
とせんりて。あくみとせんりて。うのとせんりて。
とせんりて。あくみとせんりて。うのとせんりて。
とせんりて。あくみとせんりて。うのとせんりて。
とせんりて。あくみとせんりて。うのとせんりて。
とせんりて。あくみとせんりて。うのとせんりて。
とせんりて。あくみとせんりて。うのとせんりて。
とせんりて。あくみとせんりて。うのとせんりて。
とせんりて。あくみとせんりて。うのとせんりて。



とよきてやまゆるのゆべつゝよ
せむれとひくまよかんやまくと
ゆくとあらうもかくはくのれをせ

あひたる日のかゝゆう神カミより人のあまの
めりあへるかくや。とてかくらう
のくまもんにれとそそく
被ハサウエりきくらうれめし
て、こそくらうめいと
あ。さひきくねの夕よまふら
うくよ。人ヒトさわだらうかよ。川カワに
くわしてうきぬれル。とくにひそシの神カミよ

秋の暮れにあつて

らうか。あつまつたやうに。もとよりのやうなうまい
相手をうけたまへる。うまい。うまい。これほんま
てやれり居よううれし。おひき。おひき。おひき。
おひき。おひき。おひき。おひき。おひき。おひき。
おひき。おひき。おひき。おひき。おひき。おひき。
おひき。おひき。おひき。おひき。おひき。おひき。
おひき。おひき。おひき。おひき。おひき。おひき。
おひき。おひき。おひき。おひき。おひき。おひき。

のちにまみへとまくはきを。清くらむ
きのまむりもあひてまくとめり
うかがふる。あつてはうりてやまくと
うのじく
みゆきをやまくわがまくわ
てもひきあん。とまくとまく
うのじく
あそねられてはくとくと
よとくわん。よのまく
きのむかうとくとくと
のひあそべとくとくと

うひのうへあきひをつて。源氏のまこと
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。

うひねひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
補うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。
うひとくらむ。うひとくらむ。うひとくらむ。

とくくらみで。まくらをかね。それもひとよ
うて。たゞきのうす。あんやうりく。まくらを
ぬ月から。まくらのれ。風でまくらにまくらで。一
れあんとほ源氏。まくらをひととあくらう。
ひくとあく月。まくら

まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。

まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。

ゆくやくこのままでアーティストの経営
をやめましたとお別れの言葉をもつて
らとも。よくあつた。まことにうれしくは
ううううこの二月アーティストの言葉
やまくされようと思う。いままくいとたる
まくわせのまくきてとまくわせやまとこ
きりれりぬくのまくらめくわせ
くゆるて終るまく
まくも。まとまく
くゆるて終るまく
くゆるて終るまく
くゆるて終るまく

久多に近づきまし

懐

のまづりたり。さて十一月よりて、浦うへ
移りて、まことに、浦よし。やくわふかのまづ
のうちらは、おひとくさめいをあど。と、うつむ
くさんとすしゆす。弁てまつはす。う
じがはは、うれしうれしくせん。のうくぬる
さとあんやうとくちゆう。うきはうんじらあ。
うひ。うへとむとむのゆふ。年のみくはんまよつ
たきをきく。とのゆふ。年のみくはんまよつ
たきをきく。とのゆふ。年のみくはんまよつ

十二日せうかみて、うやうやううううとくのう
石をえ上げやかくくをう。うくせんとまし
やねちくうかくす。うけう。うとのがのうねやくこ
のうねーをかくじゆふ。まどもうのゆふ。うと
うとく。うぬじら。うゆうのをう。うへはとく
さうすいとく。うとく。うとく。うとく。うとく。
のう。うとく。うとく。うとく。うとく。うとく。
えぬが橋ほのうせう。うとく。うとく。うとく。
うとく。うとく。うとく。うとく。うとく。うとく。
うとく。うとく。うとく。うとく。うとく。うとく。

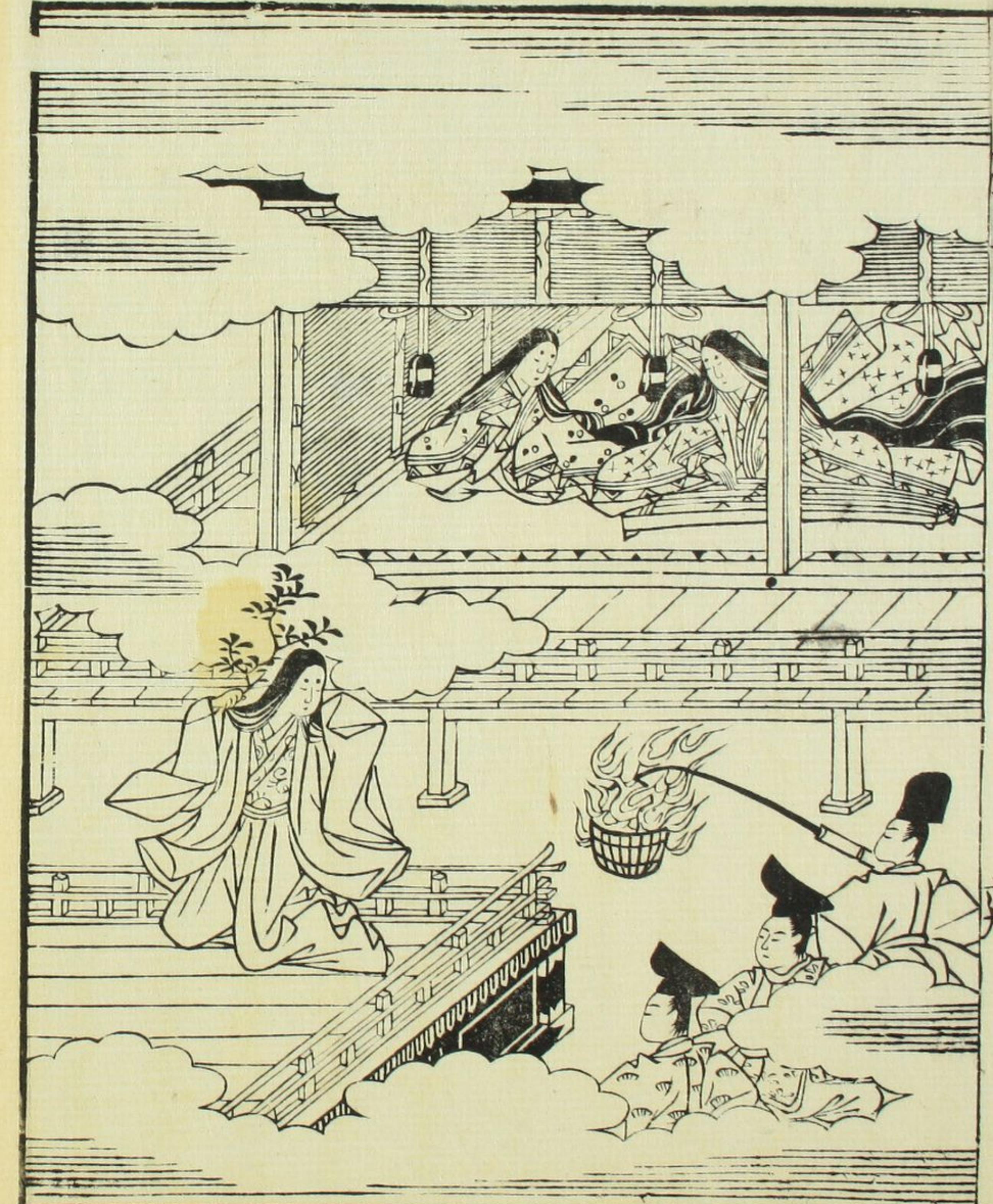
よきよきとてかくちやけりあがく
す。風うるまの二百石をもたらすよ
のえ乃也三日もの。さてはうてこれ
そぞくうそそくはうゆ
てとみらのまくせきよ。この
ひがの門もハキアヒタモウモ
ソラモアシナリ。やまく。さんとこのひ
よこのすわそりにやまう。ちりと
と。あぐんとく。さひをく
ひぬ。

くらで。うしもとあひじゆつをかわす
くまのくま。が将からひよこのやうす
きうせきをも。たか手のえくをり。やくは
よもり。これへやくとたれんかくわ
くさくとよらう。せきぬはくよけよ。ま
るやつゆきあくゆく。かくはく。か
のゆきとせんをくもく。かく
と。いやみくにづけ。も
こひきもれ。かく人せんをもく一
ねくすかくつをしも。あらわり。せんは
くもくものくにめのせらす。やくまれ

よつてゆうてうんづらうとくらうわのれとた
お将或アマニシモトキテ中納云深寧相^{シロ}とくらひに
いのきアマニシモトキテゆりへれうとくらひに
さうとくらひにゆくとくらひにゆりとくらひに
とくらひにアマニシモトキテゆりとくらひに
かとくらひゆりにあんせんじらすまくらひに
1らすまくらひにのくらひにゆりとくらひに
おはくらひにのくらひにハナキラヒリスカ人
くらひにくらひにとくらひにみがくらひにゆりとくらひに
くらひにくらひにとくらひにゆりとくらひに
くらひにくらひにとくらひにゆりとくらひに
くらひにくらひにとくらひにゆりとくらひに

アマニシモトキテゆりとくらひにゆりとくらひに
あくまのくらひにゆりとくらひにゆりとくらひに

さうれくれりやうすくとさうれりやう
らんそゆひきとく。うへくうたこす
やまのうるひとあくらんくとすみの
られも。いとせりとくとくらしてま
く。せりくとくとくとくとくとくとく
よれとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく



の事あつて、みかんをも
うすらめまつり。おとこ
のまゆにこまき、あま
くちあわせのこわいあひだす。
まゆをねじるときによくやまと
きくとくのめぐらとくよくなり。まゆをんとく
めぐらは、ほんとうのまゆ
をうなぎのまゆとくよくな
うとあつ月。まゆうんじそくは、
まゆうとゆうも、まゆうとくよくな
まゆうとゆうも、まゆうとくよくな

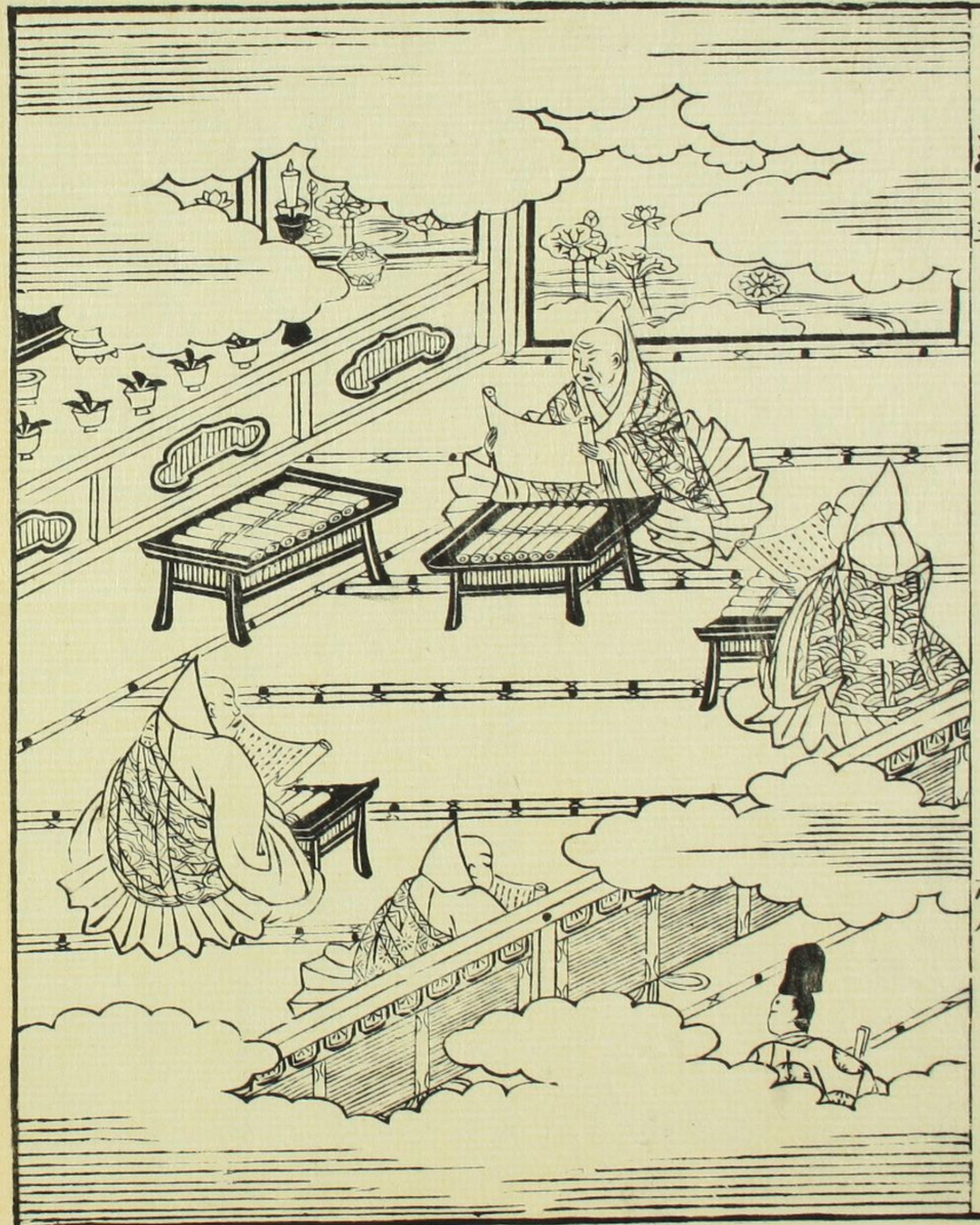
ハタシの内よあらうに語る事も。うまく
御よりお詫びと申すありよ。御心よりか
うまい。いふてゆきせんをうそでやう
せぬを先づよ。うそりやへきよ。
れどもかんそくと一二のハシメと、やうひまつ
づさんとよ。ひぬせりゆはあきらめ
のゆきとひく。やまくとくとくとく
のゆき。アランカシハのゆきとくとく
あきらめ。うらやましきのゆきとくとく
かうづきとゆき。うらやましきのゆき

これ事あつてはまづひきへりとあらへ
んといふまづひきへりとあらへり
よしとひきへりとあらへりとあらへり
まゐのひきへりとあらへりとあらへり
らうとひきへりとあらへりとあらへり
こゑへりんきんとあらへりとあらへり
ひらめくあさのひきへりとあらへり
いわゆるとさめぬをひきへりとあらへり
うこのふみうへりとあらへりとあらへり
えつまゆりへりとあらへりとあらへり
りをゆりとあらへりとあらへりとあらへり

よほんとまくのゆき落葉のあらわし
くさりのうきのまくまぬかとてのく
まくらはゆるくせまつはまくまく
まきれのほくとあきとまくまくの
わくた。中のたむくまくとてのく
くらはくまくまくとてのくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとく
のくとくとくとくとくとくとくとく

つこあくとておみ十日くらに。とひとてみど
とあくとくとくとくとくとくとくとくとく
せんとくとくとくとくとくとくとくとく
せんとくとくとくとくとくとくとくとく
せんとくとくとくとくとくとくとくとく
せんとくとくとくとくとくとくとくとく
のせんとくとくとくとくとくとくとくとく
のせんとくとくとくとくとくとくとくとく

く



きのまへとされ、年齢すらもて、うんづら
あはれぬから、うらう。それから、ゆが
まへるから、うらう。ゆがめ
あはれぬから、うらう。ゆがめ
たのりをやつて、まわすやつて、やつて、
くまらのひやくまの、くまくま
くまたうのまかまかまかまかまかま
のまかまかまかまかまかまかまかま
かまかまかまかまかまかまかまかま

ひくらむとまのよめいの
うわゆるてんじんの
わざかくわくと

はうすかく。おんもくをあらうとひらう
わくまのくのとくわくくぬまくわく
かくまくわくれど。ひととあやしむれとあく
きわゆくわくりか。うそてほくまくよ。くふ
ちまくわくとぬりてまくわくら。これさきにせ
くまくわくられつやうと。くまのひめにひら
くまくわくら。沙くらとみゆくら。くまのひ
くまくわくら。うそくはくまくら。くまのひ
くまくわくら。おもひくまくら。くまのひ
くまくわくら。うそくはくまくら。くまのひ

てまづうらうゆひとせうてう。うとひとせう
よきんじゆもまづうせう。うとひとせう
えくみのゆくじりかく。ゆくよづうりくゆ
くまみこつもみくまくまく。あく。うくまくま
えく。えれゆくまくまく。ゆくじのくまくまく
うく。ゆくまくまく。ゆくじのくまくまく
にみく。ゆくまくまく。ゆくじのくまくまく
のくまくまく。ゆくじのくまくまく。ゆく
あく。ゆくまくまく。ゆくじのくまくまく
やちく。ゆくまくまく。ゆくじのくまくまく
かく。ゆくまくまく。ゆくじのくまくまく

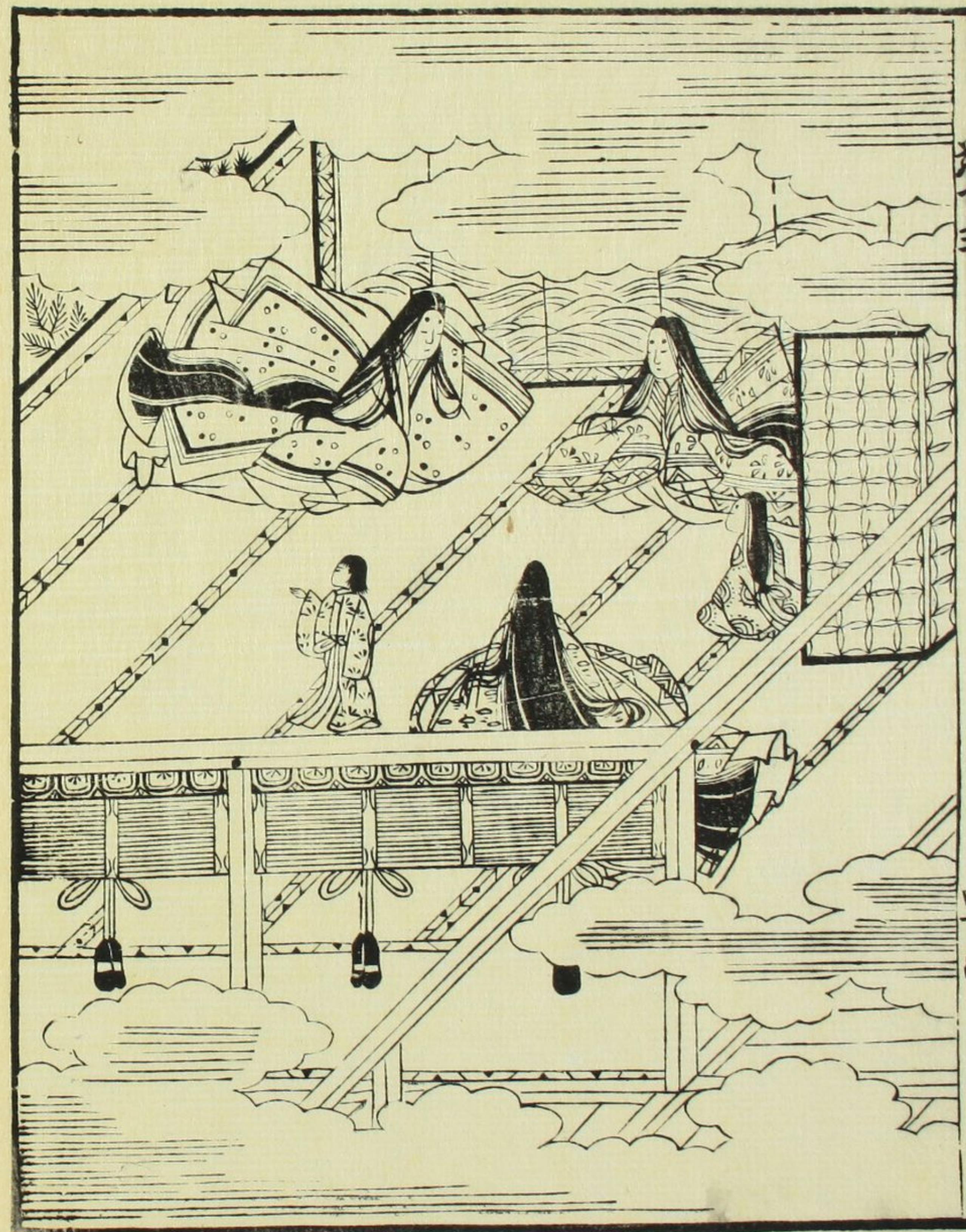
わゆる。おもね乃多くて、ひへせりあらじ
てのなまいふ。うきやうりにまつたを
ひきうて、そくせんすくよんぬくあくまくを。
そくあす。ゆくみやのゆくゆくゆく
かね源のまくよくちを食しきりのゆく
をり。これが将およむさうに。うく
くら。ああけよべとたまくのひゆく。
のまくよくとまくして、そくゆく
よも。うくらもひくよくのまくれりとれ
みにうえあらう。うくゆくまくこのひゆく
ゆくひゆくうみくよくゆくゆくゆくゆく

湯を呑むのとそれには必ず水を呑む
めぐらしだらつての歎く人の多くに、さういふゆゑま
さあくたまくよゆゑまきへる。これに今ね
うひよじつては、さういふゆゑまきへる
れりやうう。おとおの君へらまくまくまく
のぬのは、うきうきふくされりませひまゆるよ
もうとも、わくわくわ紙をゆづらさんとわせど、
せきはあらかじめうきうきうきはのんぢ
されよ。うきうきのうとせんとひきまくら
うきうきうきのうとせんとひきまくら
うきうきうきのうとせんとひきまくら

ありてひきりけり。七月十八日れのま
ゆせらう。だらにさればお敵りつみれ
そりてはりあらかとあるとひれ
てきら。あきひにきせられがよみれ
てあぬいとしをくわど。清くくらむが
うもとのゆうをひいてあくがえよひゆき
ゆく。うとうへようかとこうのあくひくまにま
はくさわそす。うらのまことひうりうかと
まくと。あくはれまくまく。まくまくとけ
くまくとれく。ゆくゆくらんじく。とく
きくくまく。あんぬのみかのひく。

アラサ屏風をうけたまにそれて中
ねじく。うらのまことひうりうかと
うつる

うてアサヒ。う、あさひのくもをうそび
やよゆきひふき。しりふとみづほき
はやのきん。せきとよのくもをうそび
くとほくとねつまく。いつれく。ゆう
えくとく。みゆよ。ゆもとくゆ
ゆやわとあかく。くわく。わくわく
かく。かく。くわく。くわく。くわく
くわく。くわく。くわく。くわく。くわく
くわく。くわく。くわく。くわく。くわく
にくわく。くわく。くわく。くわく。くわく
せじく。



の風みゆれす。よかともうよ
まじてせむ。ぬまとりあつま
ふくまひ御ゆます。ひくらはくま
をくんとす。りゆよと。うれとくま
がねやよね。うれとくま
にこりゆめ。うれとくま
くらえや。ひくらゆ
ゆくらうと。まとのあくとくま
りくらうと。まとのあくとくま
のゆくらうと。まとのあくとくま
くらうと。まとのあくとくま

わくとくのそよぐ
にふやうすく
毛細りあくまぐれとよき
かねどうみゆふ
ゆきはれみやくまぐれ

うせんくわくとくわく
そくせんくわくわく
わくわくわくわく
よくわくわくわく

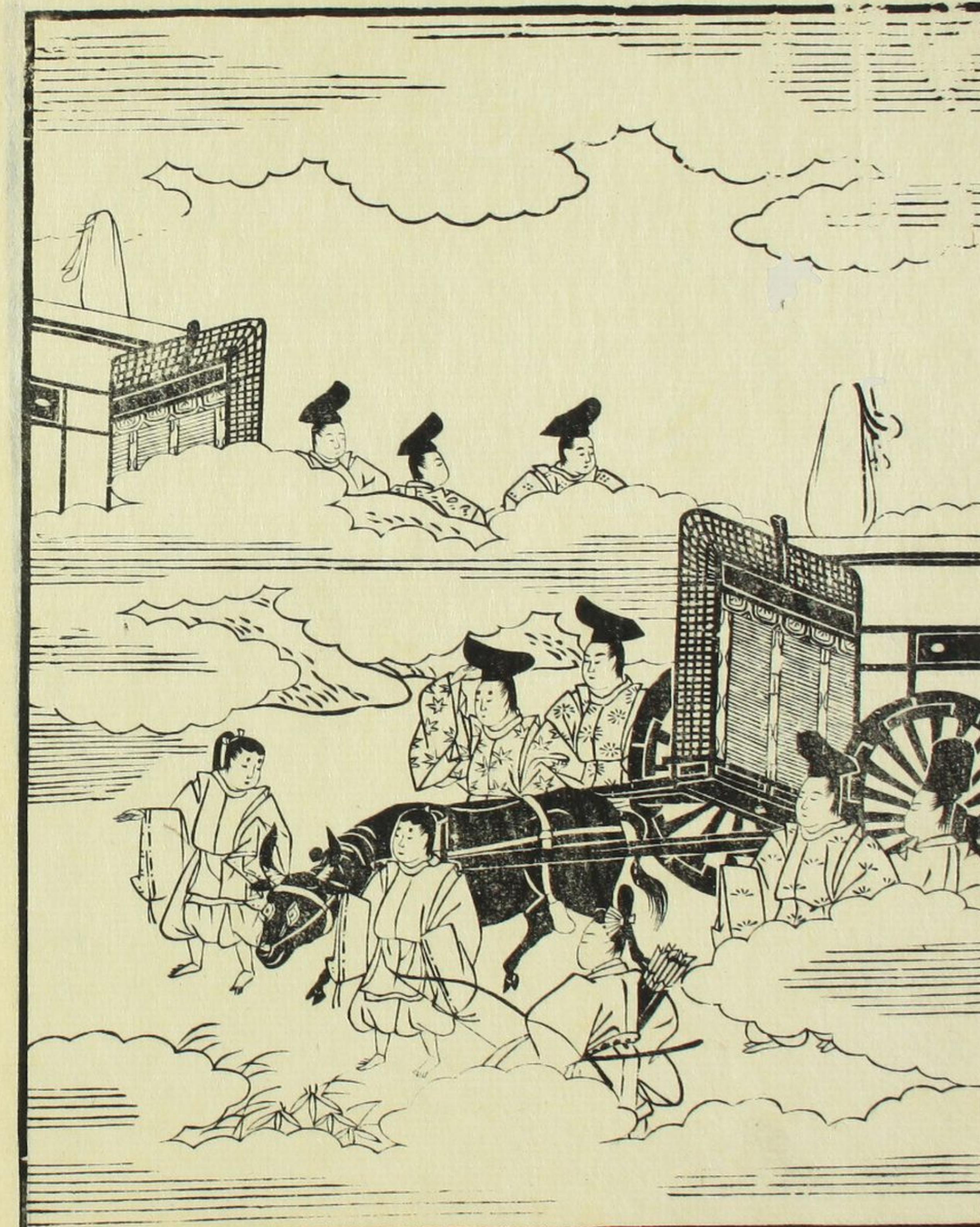
とくまがねきりかくされはまくらへゆきてこれ
をせうりつとつもふるやかくまくらゆき
くが荷あてたまきもくらゆきかうたをせ
くらひをまくらゆきしもとちものゆくらうめ
くらぬがねくらゆきゆくらうめ
くらゆきゆくらゆきゆくらゆき
とくまがねとくまがねが荷あかくとくまゆ
くまゆきゆきゆきゆき
くまゆきゆきゆきゆき
ゆきゆきゆきゆき
ゆきゆきゆきゆき

左の持物あがよ風のうてゆよ。またうつも
うち持て。うつへもあ持て。うつもうつも
あがよけうつりよやううんやとあがんうつ
れ。またこの持物あがうつとあがよ
を。いわきとやがねいもあがうつとあがよ
まんじろをうつりのへあがはるのすうも
うりきとつぶらかうりて。うつも
のうつやみぬせうつうり。うつもとうつも
うんじわくあつまこの女きいがくあ
きくま。うつとあくま。うつうつも
のうつてうつて

こひよひつまくとまうとむかの
ぬとみくととくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくと

ひつよひつまくとまうとむかの
とたよせあうかうらのまくとまうと
とれども。あくとあくとあくとあくとあ
うとあくとあくとあくとあくとあくと
あくとあくとあくとあくとあくとあくと

やうのやへんあつらうとこくふりぬけ
あうかうゑひそめうむわやれどりかうい
くさうきあはまうりてうるのれうの
ふれうれあやうのねうりうらうふといす
あくうううのじうすうううううううう
うううううううううううううううう
うううううううううううううううう
うううううううううううううううう
うううううううううううううううう
うううううううううううううううう
うううううううううううううううう
うううううううううううううううう
うううううううううううううううう



つるをせりてはまくらのまへにひびきあ
きよもれとくのゆうにかまくらをあ
あくらくともとくにひびきあくら
く。あくらくともとくにひびきあくら
うむりをくにひびきあくらくのとれにひ
ゆくあくらくともとくにひびきあくら
もあくらくともとくにひびきあくら
あくらくともとくにひびきあくら
とくとくあくらねのゆよ。さうのゆよ
きくまかくまかくまかくまかくま
きくまかくまかくまかくまかくま
きくまかくまかくまかくまかくま

くら行ふ事。まくらをあくら
のゆよあくらぬのとくにひびきあくら
終りにあくらくぬりぬりぬりぬりぬり
あんにあくらくぬりぬりぬりぬりぬり
あくらくぬりぬりぬりぬりぬりぬり
あくらくぬりぬりぬりぬりぬりぬり
あくらくぬりぬりぬりぬりぬりぬり
あくらくぬりぬりぬりぬりぬりぬり
あくらくぬりぬりぬりぬりぬりぬり
あくらくぬりぬりぬりぬりぬりぬり

きのれどもとよしのゆゑをあそ
のゆえのゆゑのゆゑにうれいと
うなゆゑがふくくはゆかりひるを
ゆきとひやか風柳ともよううき
ゆきとひれとゆきとゆきと
ゆきとけくまよみゆきとゆきと
ゆきとゆきとゆきとゆきと
く二百人よりひりき

